

熊本大学科目ナンバリング

令和5年12月7日

1 科目ナンバリングの導入について

科目ナンバリングとは、授業科目を水準等に応じた特定の番号を付与し分類することで、学修の段階や順序等を示し、各教育プログラムにおけるカリキュラムの体系的性を明示する仕組みです。

本制度の導入については、中央教育審議会の各種答申（「学士課程教育の構築に向けて」、「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」）等により、教育改革への対応策として導入の必要性が求められているところです。

また、本学の第二期中期目標・中期計画においても、教育課程の体系化を進める取組みとして、本制度の導入について検討することとしており、今後の大学のグローバル化を推進する上でも海外で一般的に普及している本制度の導入に取り組むことは喫緊の課題となっています。

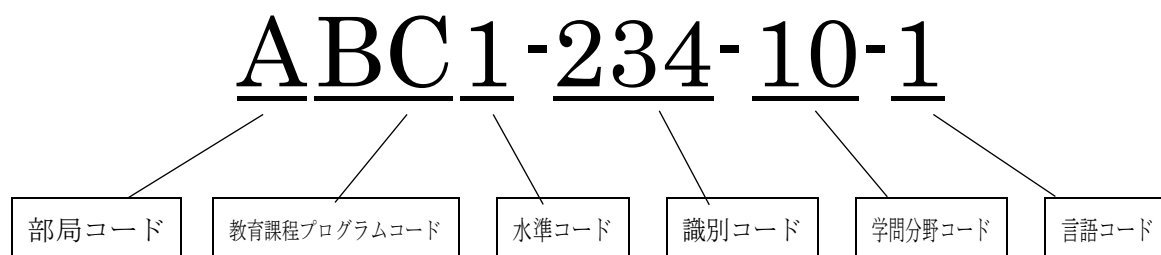
2 科目ナンバリングの導入の目的及び期待される効果について

- (1) 教育プログラム、難易度、学問分野を明示することで、学修の順次性を確認でき、計画的な学習が可能となります。（シラバス等に科目ナンバリングコードを設定することで、履修すべき科目等の選別が容易になります。）
- (2) 他学部（他学科）、他大学との授業科目レベルの比較の参考となり、海外からの留学生にとっても履修する科目の判断が容易になります。
- (3) カリキュラム点検のツールとして活用でき、体系的な教育プログラムの実現に向けた改善を実施するきっかけとなります。
- (4) ナンバリングを学務系システムへ反映することで、管理部門（教務事務担当）においても各種統計や資料作成時にナンバリングの各項目をキーとしてデータを抽出することが容易となります。

3 本学における科目ナンバリングの形式について

本学における科目ナンバリングの形式については、授業科目を提供する学部・学科等、関連する学問分野、難易度、授業で使用される言語を示すコードにより構成します。

<熊本大学科目ナンバリングの形式>



4 各コードの定義について

(1) 部局コード

部局コードは、当該授業科目を提供している学部、学環、研究科、教育部等の単位で区分するための項目です。原則、各部局名を表記することになります。

コードの表記は、英字1文字として、学生番号に使用している英字表記を準用して各部局を示します。

<部局コード分類表>

コード	部局名	コード	部局名
L	文学部	A	大学院教育学研究科
E	教育学部	G	大学院社会文化科学教育部
J	法学部	D	大学院自然科学教育部
S	理学部	R	大学院医学教育部
M	医学部	W	大学院保健学教育部
P	薬学部	Y	大学院薬学教育部
T	工学部	Z	養護教諭特別別科
X	情報融合学環	V	特別支援教育特別専攻科
K	教養教育		

(2) 教育課程プログラムコード

教育課程プログラムコードは、当該授業科目を提供している学科・修士及び博士課程・専攻等の単位で区分するための項目です。

<教育課程プログラムコード分類表>

部局名	学科等名	部局コード	教育課程コード		
文学部	総合人間学科	L	I N		
	歴史学科	L	H I		
	文学科	L	L I		
	コミュニケーション情報学科	L	C O		
	共通科目	L	L X		
教育学部	小学校教員養成課程 教育学（～2021年度）	E	E D		
	小学校教員養成課程 心理学（～2021年度）	E	E P		
	小学校教員養成課程 共通科目（～2021年度）	E	E X		
	中学校教員養成課程 国語（～2021年度）	E	J J		
	中学校教員養成課程 社会（～2021年度）	E	J C		
	中学校教員養成課程 数学（～2021年度）	E	J M		
	中学校教員養成課程 理科（～2021年度）	E	J R		
	中学校教員養成課程 音楽（～2021年度）	E	J O		
	中学校教員養成課程 美術（～2021年度）	E	J A		
	中学校教員養成課程 保健体育（～2021年度）	E	J H		
	中学校教員養成課程 技術（～2021年度）	E	J T		
	中学校教員養成課程 家庭（～2021年度）	E	J K		
	中学校教員養成課程 英語（～2021年度）	E	J E		
	中学校教員養成課程 共通科目（～2021年度）	E	J X		
	特別支援教育教員養成課程（～2021年度）	E	S P		
	養護教諭養成課程（～2021年度）	E	Y O		
	学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース	小学校専攻	教育	E	P D
			心理	E	P P
			共通科目	E	P X
		国語専攻	E	P J	
		社会専攻	E	P C	
		数学専攻	E	P M	
		理科専攻	E	P R	
		英語専攻	E	P E	
		実技系専攻	音楽	E	P O
			美術	E	P A
			保健体育	E	P H
			技術	E	P T
			家庭	E	P K
		学校教育教員養成課程 特別支援教育コース	E	S S	
学校教育教員養成課程 養護教育コース		E	S Y		
共通科目	E	E Z			
法学部	法学科	J	L A		
理学部	理学科 数学コース	S	S M		
	理学科 物理学コース	S	S P		

	理学科 化学コース	S	SC
	理学科 地球環境科学コース	S	SQ
	理学科 生物学コース	S	SB
	共通科目	S	SS
医学部	医学科	M	ME
	保健学科 看護学専攻	M	HN
	保健学科 放射線技術科学専攻	M	HR
	保健学科 検査技術科学専攻	M	HL
薬学部	薬学科	P	PH
	創薬・生命薬科学科	P	PL
	共通科目	P	PX
工学部	土木建築学科 土木工学教育プログラム	T	DC
	土木建築学科 地域デザイン教育プログラム	T	DU
	土木建築学科 建築学教育プログラム	T	DA
	土木建築学科 共通	T	DX
	機械数理工学科 機械工学教育プログラム	T	ME
	機械数理工学科 機械システム教育プログラム	T	MS
	機械数理工学科 数理工学教育プログラム	T	MA
	機械数理工学科 共通	T	MX
	情報電気工学科 電気工学教育プログラム	T	JK
	情報電気工学科 電子工学教育プログラム	T	JS
	情報電気工学科 情報工学教育プログラム	T	JJ
	情報電気工学科 共通	T	JX
	材料・応用化学科 応用生命化学教育プログラム	T	ZS
	材料・応用化学科 応用物質化学教育プログラム	T	ZB
	材料・応用化学科 物質材料工学教育プログラム	T	ZZ
	材料・応用化学科 共通	T	ZX
	半導体デバイス工学課程	T	HD
	共通科目	T	TX
	情報融合学環	DS総合コース	X
DS半導体コース		X	XS
共通科目		X	XX
教養教育	肥後熊本学	K	HI
	情報科目	K	CO
	理系基礎科目	K	SC
	必修外国語科目	K	RF
	自由選択外国語科目	K	SF
	体育・スポーツ科学科目	K	PH
	リベラルアーツ科目	K	LI
	現代教養科目	K	CI
	キャリア科目	K	CA
	Multidisciplinary Studies	K	MU
	日本国憲法科目	K	JA
	開放科目	K	OP
	大学院教養科目	K	GG
教育学研究科	教職大学院の課程 教職実践開発専攻	A	PS

社会文化 科学教育部	博士前期課程 法政・紛争解決学専攻	G	MA
	博士前期課程 熊本大学・マサチューセッツ州立大学 ボストン校紛争解決学国際連携専攻	G	MR
	博士前期課程 現代社会人間学専攻	G	MM
	博士前期課程 文化学専攻	G	MC
	博士前期課程 教授システム学専攻	G	MI
	博士前期課程 共通科目	G	MX
	博士後期課程 人間・社会科学専攻	G	DH
	博士後期課程 文化学専攻	G	DC
	博士後期課程 教授システム学専攻	G	DI
	博士後期課程 共通科目	G	DX
自然科学 教育部	博士前期課程 理学専攻 数学コース	D	MM
	博士前期課程 理学専攻 物理科学コース	D	MP
	博士前期課程 理学専攻 化学コース	D	MC
	博士前期課程 理学専攻 地球環境科学コース	D	MQ
	博士前期課程 理学専攻 生物科学コース	D	MB
	博士前期課程 理学専攻 共通科目	D	MS
	博士前期課程 土木建築学専攻 土木工学教育プログラム	D	ME
	博士前期課程 土木建築学専攻 地域デザイン教育プログラ	D	MR
	博士前期課程 土木建築学専攻 建築学教育プログラム	D	MA
	博士前期課程 機械数理工学専攻 機械工学教育プログラム	D	MH
	博士前期課程 機械数理工学専攻 機械システム教育プログラム	D	MI
	博士前期課程 機械数理工学専攻 数理工学教育プログラム	D	MO
	博士前期課程 情報電気工学専攻 電気工学教育プログラム	D	MD
	博士前期課程 情報電気工学専攻 電子工学教育プログラム	D	MN
	博士前期課程 情報電気工学専攻 情報工学教育プログラム	D	MJ
	博士前期課程 材料・応用化学専攻 応用生命化学教育プログラ	D	ML
	博士前期課程 材料・応用化学専攻 応用物質化学教育プログラ	D	MK
	博士前期課程 材料・応用化学専攻 物質材料工学教育プログラ	D	MZ
	博士前期課程 工学系専攻 共通科目	D	MT
	博士前期課程 共通科目	D	MX
	博士後期課程 理学専攻 数学コース	D	DM
	博士後期課程 理学専攻 物理科学コース	D	DP
	博士後期課程 理学専攻 化学コース	D	DC
	博士後期課程 理学専攻 地球環境科学コース	D	DQ
	博士後期課程 理学専攻 生物科学コース	D	DB
	博士後期課程 理学専攻 共通科目	D	DS
	博士後期課程 工学専攻 広域環境保全工学教育プログラム	D	DE
	博士後期課程 工学専攻 社会環境マネジメント教育プログラム	D	DF
	博士後期課程 工学専攻 人間環境計画学教育プログラム	D	DA
	博士後期課程 工学専攻 循環建築工学教育プログラム	D	DR
	博士後期課程 工学専攻 先端機械システム教育プログラム	D	DH
	博士後期課程 工学専攻 機械知能システム教育プログラム	D	DI
博士後期課程 工学専攻 応用数理教育プログラム	D	DO	
博士後期課程 工学専攻 先端情報通信工学教育プログラム	D	DJ	

	博士後期課程 工学専攻 機能創成エネルギー教育プログラ	D	DD
	博士後期課程 工学専攻 人間環境情報教育プログラム	D	DN
	博士後期課程 工学専攻 物質生命化学教育プログラム	D	DK
	博士後期課程 工学専攻 物質材料工学教育プログラム	D	DZ
	博士後期課程 工学専攻 共通科目	D	DT
	博士後期課程 共通科目	D	DX
医学教育部	修士課程 医科学専攻	R	MM
	博士課程 医学専攻	R	DM
	共通科目	R	CM
保健学教育部	博士前期課程 保健学専攻	W	MH
	博士後期課程 保健学専攻	W	DH
薬学教育部	博士前期課程 創薬・生命薬科学専攻	Y	ML
	博士後期課程 創薬・生命薬科学専攻	Y	DL
	博士課程 医療薬学専攻	Y	DH
	共通科目	Y	CM
養護教諭特別別科		Z	YO
特別支援教育特別専攻科		V	SP

(3) 水準コード

水準コードは、授業科目の難易度の目安を示すための項目です。

コードの表記は、各科目のレベルに応じて0から7までの8段階により、1～4を学士課程、5～7を博士前期課程（修士課程）、博士後期課程（博士課程）、専門職学位課程のそれぞれのレベルに分類します。

ただし、学年と水準は必ずしも一致するものではありません。（3年次向けの科目であってもレベル2となる場合もあります。）

具体的な区分方法については、以下の「水準コード分類表」のとおりです。当該分類表に基づき設定願います。

<水準コード分類表>

コード	定義	主な対象
0	卒業要件外の科目	・資格取得のための科目 ・卒業要件外の授業科目
1	入門的・導入的科目	・初年次での必修科目を含む、基礎的な教養教育科目・共通専門基礎科目 ・各学部等で、その専門領域を初めて学ぶ学生のための基礎的な専門科目 ・医学部医学科の専門基礎科目
2	中級レベルの科目	・発展的内容を扱う教養教育科目 ・発展・応用レベルの内容を扱う専門科目 ・医学部医学科の基礎医学科目
3	高度な内容を扱う科目	・より高度な内容を扱う教養教育科目 ・実践的・専門的に高度な内容を扱う専門科目 ・医学部医学科の臨床医学科目（系統講義）
4	学士課程卒業レベルの科目	・学士課程で学修する最終段階の水準の科目 ・卒論ゼミ、卒業演習、卒業論文、卒業研究等 ・医学部医学科の臨床実習（ポリ・クリ）・特別臨床実習（クリ・クラ）
5	大学院レベルの科目	・大学院学生を対象とする教養教育科目 ・実践的・専門的に極めて高度な内容を扱う大学院での授業科目 ・6年制学士課程、専門職学位課程において高度専門職に必要な極めて高度な実践的・専門的内容を扱う科目
6	大学院博士前期課程（修士課程）・専門職学位課程 修了レベルの科目	・大学院博士前期課程（修士課程）・専門職学位課程で学修する最終段階の水準の科目 ・修士論文など
7	大学院博士後期課程 （博士課程）	・大学院博士後期課程で学修する科目 ・博士論文など

(4) 識別コード

識別コードは、授業科目を識別するための項目です。

コードの表記は、数字3ケタで表記し、各部局において任意に設定願います。

(5) 学問分野コード

学問分野コードは、授業科目の属する学問分野を示すための項目です。

コードの表記は、数字2ケタとして、科研費「系・分野・分科細目表」の分科の区分を基本として分類します。

<学問分野コード分類表>

コード	分野名	コード	分野名	コード	分野名
09	外国語	38	経済学	67	生物科学
10	情報学	39	経営学	68	病態学
11	計算基盤	40	社会学	69	総合医学
12	人間情報学	41	心理学	70	生産環境農学
13	情報学フロンティア	42	教育学	71	農芸化学
14	環境解析学	43	ナノ・マイクロ科学	72	森林圏科学
15	環境保全学・創成学	44	応用物理学	73	水圏応用科学
16	デザイン学	45	量子ビーム科学	74	社会経済農学
17	生活科学	46	計算科学	75	農業工学
18	科学教育・教育工学	47	数学	76	動物生命科学
19	科学社会学	48	天文学	77	境界農学
20	博物館学	49	物理学	78	薬学
21	地理学	50	地球惑星科学	79	基礎医学
22	社会安全システム科学	51	プラズマ科学	80	境界医学
23	人間医工学	52	基礎化学	81	社会医学
24	健康・スポーツ科学	53	複合化学	82	内科系臨床医学
25	生体分子科学	54	材料化学	83	外科系臨床医学
26	コミュニケーション学	55	機械工学	84	歯学
27	地域研究学	56	電子電気工学	85	看護学
28	ジェンダー・観光学	57	土木工学	86	内科学
29	哲学	58	建築学	87	外科学
30	芸術学	59	材料工学	88	成育医学
31	文学	60	プロセス・化学工学	89	感覚・運動科学
32	言語学	61	総合工学	90	脳・神経・精神科学
33	歴史学	62	臨床医学	91	検査医学
34	人文地理学	63	分子細胞生物学	92	放射線技術科学
35	文化人類学	64	生体構造学	93	放射線医学
36	法学	65	生体機能学	99	その他
37	政治学	66	感染免疫学		

(6) 言語コード

言語コードは、授業科目で使用する言語を示すための項目です。

コードの表記は、数字1ケタとして、以下のとおり区分します。

0：全て日本語で実施

1：全て英語で実施

2：日本語及び英語によるバイリンガルで実施

3：全て英語以外の外国語で実施

4：英語以外の外国語及び日本語によるバイリンガルで実施

5：その他の言語の組み合わせで実施